



理念

- 1、乳幼児期の子どもの最善の利益を守る保育園
- 2、親・地域の多様な子育ての要求を受け止め、
助ける保育園
- 3、すべての子どもたちが健やかに育ち、すべての
ものの生命を大切に、平和な社会をめざす保育園

めざす子ども像

- 1、心身ともに健康な子ども
- 2、自分の要求を持ち、豊かに表現し
実現しようとする子ども
- 3、自分を大切に、仲間を大切にする子ども

保育目標

- 1、子どもの人格を尊重し、子どもの一人ひとりの発達を援助する
- 2、保護者と子育てを共同する保育園の社会的役割を果たす
- 3、保育園の社会的役割を果たす

海がみんなひとつの海だったら

マザーグース

うみがみんな
ひとつのうみだったら

どんなに
おおきいうみだらう

きがみんな
ひとつのきだったら

どんなに
おおきいだらう

おのがみんな
ひとつのおのだったら

どんなに
おおきいおのだらう

ひとがみんな
ひとつのひとだったら

どんなに
おおきいひとだらう

そのおおきいひとが
おおきいおの

おおきいきをきり
おおきいうみにたおしたら

どんなに
みずがはねるだらう



7月は雨天の日が多く、また手足口病が流行したこともあってプール遊びはほとんどできませんでした。梅雨明けとともに暑い日が続いています。熱中症の心配がありますので、朝食をしっかりとって登園しましょう。過去のことでありますが朝食をとらないことで低血糖になり救急車で搬送され、意識が戻るのに時間がかかったことがありました。体調管理に気を付けて水遊びやプール遊びが楽しめたらと思います。

先日バスの中でのことです。3歳ぐらいの女の子と母親の会話に聞きいってしまいました。以下紹介します。女の子が何かを欲しがってプレゼントしてほしいことを母親につたえていました。

母 プレゼントをもらった時に「ありがとう」って言ったら、あげる人はうれしいと思うよ。ありがとうっていえる？

子 (首を振る) 恥ずかしい

母 恥ずかしい？ そうだね 恥ずかしいんだね 心の中でありがとうって言ってもいいよ

子 (少し間があり) 言えた

母 言えたんだ 心の中で何回もありがとうって言ったら 言えるようになるよ

恥ずかしくてありがとうが言えないその子の気持ちを受け入れ「心の中でありがとうっていうこと」の提案をその女の子は受け入れていました。子どもの気持ちに沿って会話する素敵なお母さんだと思いました。

8月の予定 (今月はカレンダーを省略させていただきます)

- 8日(木) 健康診断
- 9日(金) ウェルキッズのカメラマンが来てプールや水遊びの撮影をします。
(天候不良の場合、日常写真の撮影になります)
- 20日(火) 身体測定
- 22日(木) 健康診断



お知らせ

*8月13日(火)~15日(木)は職員の夏期休暇が集中しますので乳児・幼児は合同保育になりますのでご了承ください。

夕涼み会のアンケートへのご協力ありがとうございました

今年の夕涼み会も子どもたち手作り満載のおみこしとお店屋さん、かっちゃん先生の太鼓が大好評でした。保護者のアンケートより感想の一部をご紹介します。

水風船も手作りおもちゃも初めての動きや音にキラキラした目で遊んでくれて助かりました。不参加ではありましたがお祭り感を体験出来て良かったです。

ひよこ組保護者



大きな太鼓の音にも動じず、真剣に見ていました。成長と共に楽しめそうだなあと思いました。赤ちゃん用おもちゃもあって嬉しかったです。

ひよこ組保護者



まだ歩けないので、だっこで雰囲気味わうという感じではありましたが、太鼓の音を聞いたり、盆踊りの曲を聴いたり、普段とは違う場所で興味津々でした。

ひよこ組保護者



年上のクラスになると楽しめそうですね！今回は楽しむ練習ができました。園庭でお祭りっぽく出来たらいいと思いました。

ひよこ組保護者



太鼓や音楽を大音量で聴ける機会はなかなかないのでありがたかったです。息子も太鼓の振動が身体に響いたようで集中して聞いていました。

はと組保護者



最初は太鼓の大きな音に大号泣していましたが、太鼓の説明をして、一緒にギューツとしながら見ると段々落ち着きました。お店屋さんが出ると一転してハイテンションになりました。帰宅してからもスタンプカードを首から下げてハンコを見てお店屋さんの話をしていました。「また、明日もある？」というくらい楽しかったようです。

あひる組保護者



毎年、太鼓を怖がるので1~2週間まえから導入として太鼓を見せたり、担任が叩いたりして慣らして下さるともったのしめるのかなーと思います。

あひる組保護者



毎年、子どもたちのエイサーを見ると一生懸命な姿に涙が出そうになります。子どもが楽しそうにしている姿や緊張している姿を見られる機会は貴重な時間でした。うちの子はまだ楽しむという感じではありませんが、年々成長と共に楽しむ姿に変わっていくのだろうなと幼児クラスのみみんなを見て思いました。

あひる組保護者



太鼓の音にびっくりしていたもののすぐに慣れてはしゃいでいました。お友達と遊んでいる様子や他のクラスの様子も見る事が出来、また普段あまりお話しする機会のないママさんともお話しができて良かったです。もらったおもちゃで毎日遊んでいます。

あひる組保護者



家では、練習むずかしいとか、盆踊りはできない等と話していたので、参加できるか心配していましたが、皆と仲よく太鼓演奏を見たりおみこしや盆踊りも参加している姿を見て、1年1年成長しているんだなと嬉しく思いました。

幼児保護者



ステキな会をありがとうございました。せっかく作ったおみこしなのでと1周くらい回っても良かったかな？と思いました。

幼児保護者



盆踊りは家でもよく練習しており本番でも楽しく踊れたようです。和太鼓も「かっちゃん」のチラシを今も家で大事に持っています。毎年太鼓はお祭りっぽくていいですね。縁日も楽しかったです。

幼児保護者



今年は父母会のお店がなく、子どもは光るおもちゃがなくて残念がっていましたが、親としてはバタバタせず、お店周りできて良かったです。卒園生のエイサーも子どもたちの刺激(憧れ)になりとても良かったです。

幼児保護者



昨年は太鼓の音やたくさんの人でびっくりしてしまいだっこだっこでしたが、今年はじんべいに着替えてにこにこで参加。すごく楽しかったようで「あしたもいこっか?!」と言っていました。あつという間の1年で成長した息子を見ることができて嬉しく、とても楽しかったです。

幼児保護者



夕涼み会に向けて、みなでお神輿やかさんのお店の商品を作ったりする姿は素敵だな、と感じました。また、お揃いのはっぴを着ている姿はとてもかわいく、大人が癒されました。

幼児保護者

職員の反省会の中では・・・

- * さかなつりのお店が大行列になってしまったので、数を増やすように検討する。
- * 盆踊りは輪が小さくて職員が出そびれてしまった。乳児の保護者にももっと呼びかけて一緒に踊れるようにしたい。(祖父母の方には声をかけたが、参加が難しかった)
- * 来年は体育館が借りられないかもしれないので園庭や園舎内で出来るか検討する。
- * 5才児が店番が終わってからお店周りをしたら時間が少なくて全部まわれなかった。でも終わってしまった子は時間を持って余してしまい、走り回っていたのでどうしたら良いか検討する。
- * おみこし周りの3, 4, 5歳児が上手に役割を果たしてできて良かった。もし、お天気なら保育園の周りを回ったり、体育館まで担いでいったりしてもいいかもしれない。

研修報告



今年度も職員が土日などを利用して研修に参加をしています。この夏の間にも参加の予定をしていますので、保護者の方にも参考になるようなお話を報告していきたいと思っています。

「わらべうたと子どもの育ち」の研修に参加して・・・

研修で学んだ「おとげしゃくしゃく」の顔遊びをクラスの子もたちにやってみました。Aちゃんにやってあげた時に、うたの中の拍(一定のリズム)を大人も感じながらうたと、目をキラキラさせて聞いていました。いつもは「もう1回!」と言って繰り返し何回やってあげても満足できなくて最後は泣き崩れてしまうこともあったのですが、その時は3回繰り返すと「うん」とうなずいて別のあそびに移っていきました。また、逆にBくんにはやってあげると、いつもは1回で終わりがちなのにめずらしく3回も繰り返し、別の所に行ってしばらくしてからまたやってきて「さっきのもう一回やって」と言っていました。今までわらべうたをやってほしいと求めてくることはなかったのでじっくりとやってあげたいと思い、満足するまでやりました。最後はクシャッと笑って私の背中にくっつき、それから他の子と交代してくれました。その後、トイレに誘ったのですが、いつもはあまり行きたがらないのですが、スムーズにトイレに行けました。

また2才児は、友だちとやることも楽しくなっていく時期なのでわらべうたも友達と一緒に手を繋ぐ、息を合わせる、同じぐさをする・・・などたくさん取り入れていきたいと思いました。その中で友達と楽しさを共有することで普段のやりとりもスムーズになったり他の遊びも充実していくのかな、と思いました。

今回の研修で、わらべうたは大人と1対1で自分だけに向き合ってもらえる時間ができること、また友達とのやり取りの一步を踏み出すきっかけになるなど、一人一人の自立を促す力があるのが魅力だと思いました。

あひる組保育士



キャリアアップ研修「乳児保育」に参加して

グループセッションが主でしたが、どのグループも「子どもの遊びの発展の仕方、噛みつきなどのトラブル、癩癩をおこす」ことについてのテーマで話し合っていました。

遊びの発展については、子どものイメージをいかに共有できるかが肝心であり、そのイメージがリアルであればあるほど盛り上がりどんどん空想の世界が広がっていくものだそうです。子どもの遊びが続かない、集中できないのは子どもの問題ではなく、寧ろ環境が整備されていない、集中させてあげられない、子どものイメージの世界を把握できていない大人の問題が少なくないというアドバイスにとっても共感しました。

噛みつきや癩癩に関しては、子どもの行動には必ず意味がある。その行動の裏に隠された思いを汲み取って接することが大前提であること。その考えの下で言葉がけや注意をした方がいいということでした。また、棚や机に登ってしまう子は自分に注目して欲しいから、噛みついたり押ししたりしてしまうのはその子が羨ましいから、自分より大事にされているように見えてしまうから、悔しいから、大声を出してしまうのはもっとかまってほしいから、もっと甘えたいから・・・などなど、そうした子どもの事情を察して本当は伝えたいのにうまく言葉にできない思いを「その気持ちわかるよ」と上手に伝えることが大人に必要なことだと思いました。

なにか、マイナスと思われることがあると、その時にやたらと口うるさく子どもに注意しがちですが、普段からみられるプラスの場面でこそ言葉がけをして関係を築き、自信を持ってもらう。そんな保育こそが子どもを尊重する保育だと思いました。

保育士

